



報道で紹介された美瑛高校 07

◆令和5年7月7日8日(R5. 7. 8 びえい新聞)

「第75回美高祭」が一般公開で行われます。3年生にとって最初で最後の一般公開！もてなしの気持ちと町民の方々への感謝の気持ちを忘れず、盛り上がりましょう！！

い新聞

2023年(令和5年)7月8日 (4)

模擬店も復活！楽しい催しで来校者をおもてなし
美瑛高「美高祭」従来のスタイルで開催

「コロナ前のような、制限にしばられず地域の皆さんにも楽しんでもらえる学校祭にしたい」。美瑛高校の生徒会長の十河楓さん(3年)は笑顔を見せた。美瑛高校

で受け継がれている学校祭「美高祭」が、7月7日・8日に開催。7日午後6時には恒例の行灯が町内を巡行する。今年の行灯のテーマは「星のカービィ」。従来は学年ごとに行灯を作ってきたが今



年は「全学年で協力して1基を制作」とのこと。美瑛高校を午後6時10分に出発、本通りから町立病院前を経て美瑛消防署前を右折、町役場前から美瑛駅に向かい、本通りで美瑛高に戻る。役場駐車場でのパフォーマンスは行われないが、行灯を曳きながら行進する生徒たちに沿道から温かい声援を。また、午後7時30分頃に花火が打ち上げられる。

翌8日は校舎を一般開放。十河さん自身も「初めての模擬店だけに楽しみ」というメニューは、1年生が射的(100円)、2年生がフランクフルト(100円)、3年生が揚げた「金だこ」(250円)を用意。PTAによる子ども向け縁日、綿あめ、バザー、焼き鳥などの模擬店も予定され、来校者をもてなす。体育館では、午後1時から学年ごとの全校パフォーマンスが披露。躍動するダンスで会場を盛り上げる。

一般開放した「美高祭」は、「3年生も経験していない」とのこと。十河さんは「どうなるか不安もあるけれども楽しみたい。1、2年生にはこれからの基準になるものだけに、少しでもコロナ前の美高祭に近づけていきたいですね」と思いを語った。ちなみに今回のポスターは、十河さんが描いた作品。「G etcha!〜今をつかもう」とした今回のテーマは、各学年からアイデアを募った中から選んだとのこと。「新しい時代をつくりあげよう!」との思いを込めて決定したもの。地域の皆さんに美瑛高校を知ってもらえたらと思うし、特に3年生は最後の学園祭となるので、自分たちでも思いきり楽しみたい」と十河さん。生徒も先生たちもPTAも一緒におもてなしする学校祭。生徒たちと交流することで美瑛高への理解も深まるきっかけにもなるだけに、ぜひ足を運

んでもらいたい。8日の一般公開は午前10時から午後1時45分までとなっている。